保護者のみな様へ

子供の歩行中の事故の特徴

子供を守るのは大人の役目！



約8倍

小学1年生の歩行中の死者数は小学6年生の約8倍！

下校時間帯

15時台～17時台で約5割！

4～7月

4月～7月と10月11月が多い！

交差点注意

約4割が交差点内での事故！

※平成25年～平成29年の県内の交通事故実態から

子供の成長に合わせて安全のサポートを

幼児への交通安全指導

子供が1人で道路を安全に通行できるように、次のことを繰り返し教え、身につけさせましょう。

4つの約束

①信号のある場所で渡る
②右・左をちゃんと見よう
③車の影から渡らない・飛び出さない
④道路で遊ばない

＋

横断歩道の渡り方
（信号機のある時も同様）

①横断歩道の手前で止まる（飛び出し注意）
②車が来ていないか右・左・右の順で確かめる
③横断中も周りをよく見て渡る



小学生になっても

幼児期に比べ、行動範囲が広がり保護者から離れて通学することになります。歩行者として安全に道路を通行できるようにするため、繰り返し指導しましょう。

通学路や自宅周辺を一緒に歩き、立ち止まる位置や見る方向、確かめる対象などを、子供の目線で具体的に教えましょう。

子供は大人のまねをします。
身近な大人である保護者自身が
安全な行動の手本を示しましょう。



沖縄県警察